



2020年7月31日

各位

会社名 株式会社東京自働機械製作所  
 代表者名 代表取締役社長 山本 治男  
 (コード番号6360 東証第2部)  
 問合せ先 経理部長 石原 英威  
 (TEL03-3866-7171)

## 2021年3月期通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年7月31日の取締役会において、2021年3月期通期業績予想及び配当予想を以下の通りとしましたのでお知らせします。

2020年5月12日付で公表した2020年3月期決算短信におきましては、新型コロナウイルスによる業績への影響を合理的に算定することが困難と判断し業績予想及び配当予想の公表を見合わせましたが、政府による緊急事態宣言が解除されたことや最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期の業績予想を算定したものであります。

### 記

#### 1. 2021年3月期通期個別業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	9,000	200	300	165	117.90
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	12,337	778	936	642	458.80

#### 2. 配当予想

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—
今回発表予想	—	40.00	40.00
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	—	50.00 (うち記念配 10.00)	50.00 (うち記念配 10.00)

#### 3. 業績予想及び配当予想の公表の理由等

2021年3月期の業績は、新型コロナウイルスの影響を一部で受けることを予想しておりますが、同時に収束時期を見通すことは非常に困難な状況にあります。当社は新型コロナウイルスの影響が現時点での予測以上に拡大しないという前提のもと当期の業績及び配当予想を決定いたしました。

当社の包装機械事業は、新型コロナウイルスの影響により、営業活動の自粛や海外渡航禁止をはじめ、国内外における全ての展示会は中止、延期されるなど受注活動において大きな制約を受けております。また、主要顧客である国内菓子食品業界の設備投資意欲は、ここに来て先行きの不安感から一部で慎重な顧客も見受けられるようになり、状況が回復するまでには今しばらく時間を要するものと推察しております。

一方生産機械事業は、新型コロナウイルスの世界的影響次第で海外特定顧客の設備投資計画にも影響が出る可能性はあるものの、現時点では設備計画に変更は見られず、今期は多くの受注残を抱えてスタートしており、その影響は限定的なものと推察しております。

これらを総合的に勘案し、当事業年度の通期業績は、売上高 90 億円（前年同期 123 億 3 千 7 百万円、27.1%減）、営業利益 2 億円（前年同期 7 億 7 千 8 百万円、74.3%減）、経常利益 3 億円（前年同期 9 億 3 千 6 百万円、68.0%減）、当期純利益 1 億 6 千 5 百万円（前年同期 6 億 4 千 2 百万円、74.3%減）を想定しております。

配当につきましては、今期の業績予想の算定、公表に伴い、公表するものであります。当社は、以前より安定配当を基本としており、前期普通配当と同額の年間配当 40 円とする予定です。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上